仙台市立鶴谷特別支援学校　学校便り

ひかり野

平成27年
4月28日(火)
No.　2

『つなげよう　高めよう　鶴特の力を』

今年度は，学校，保護者，地域，関係機関が共に手をつないで，児童生徒の健全な育成に努めていきます。また，小・中・高等部における教育内容の「**つなぎ**」を意識し，児童生徒の卒業後の生活を見据えた教育課程の検討を行います。さらに，児童生徒がつながり，互いに学び合う教育活動の工夫を行っていきます。

【各学部･部の今年度の重点目標】

学校では，児童生徒に関わる様々な活動につながる教職員の校務組織があり，重点目標を掲げています。今年度も学校評価の中で，保護者の方々からたくさんの評価をいただき，教育活動への改善につなげていきたいと思います。

＜小学部＞

〇他者との関わりを広げる授業づくりの工夫を行う。
〇日常生活における基礎的スキルの獲得に向けた指導の工夫と共通理解を図る。

＜中学部＞

〇様々な学習場面での適応力や周りと関わる力を養う授業づくりの工夫を図る。
〇将来の社会生活に必要な様々な能力や技能を育て，意欲的に働く態度を養う指導の工夫を図る。

＜高等部＞

〇集団活動の中での関わりや協働意識を高める指導を工夫する。
〇将来求められるコミュニケーションスキルの獲得に向けた進路学習を推進する。

＜教務部＞

〇学部間の連携を密にし，学習活動の円滑な推進を図る。
〇教職員のニーズと[1]ＯＪＴの視点に基づく，現職研修の計画的な実施を図る。

＜研究部＞

〇[2]「自分づくり教育」を踏まえた授業づくりの研究を推進する。
〇研究成果を外部に積極的に発信する。

＜生徒指導部＞

〇しらかばフェスタを全体で開閉会式を行うことで，共同開催の意識を高める。
〇諸行事の様子をＨＰ（ホームページ）上に速やかに発信していく。

＜保健安全部＞

〇火災や地震等に備えた訓練の充実を図る。
〇児童生徒のけが，急変等の緊急事態へ迅速に対応するための研修の充実を図る。

＜交流啓発部＞

〇「交流及び共同学習」を通して，人と関わる力を高めるための活動計画を立て推進する。
〇児童生徒の活動が見える発信の工夫をする。

＜進路指導部＞

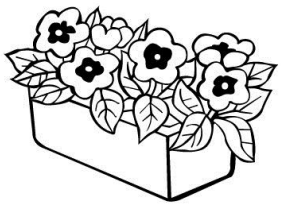
〇小学部･中学部･高等部の学習活動のつながりについて整理し，進路の手引きの作成と活用を行う。
〇進路に関する情報提供と研修の充実を図る。

＜支援部＞

〇保護者や関係機関と連携した支援の充実を図る。
〇教職員・保護者のニーズに対応した研修会を企画・運営し，必要な情報の提供・課題解決への支援を行う。

＜図書･情報部＞

〇学校図書館の利用促進を図る。
〇視聴覚・情報関連機器の整備及びホームページの円滑な運用を行う。



①「ＯＪＴ」：教職員に必要な力量の育成を図るための校内研修。同僚間における学び合いや教え合いを図ること。

②「自分づくり教育」：児童生徒の将来の社会的・職業的自立に必要な能力を育む教育。